

山田学区 社協だより

第75号

区会
協議会
山田学区
福祉協議会
山田学区
福祉協議会

高齢者

ふれあいサロン

令和二年二月四日、山田学区の高齢者ふれあいサロンを開催いたしました。

今年の八月の草津市広報では、「人生の最後まで、自分らしく生きる」と言うことで市が自ら作ったエンディングノートを「未来ノート」と称して作成し、市民にその活用を呼びかけています。

そこで、このふれあいサロンでも、市の長壽いきがい課に出前講座をお願いしました。

未来ノートに自分の普段の考えや望みを書き留めておくことは、大切な家族や友人の気持ちの支えになってくれます。また、このノートは何回も書き換えができますので、自分の考え

や気持ちが変われば、どんどんと直していったら良いとのこと

去年の十二月、厚生労働省が「人生会議」の啓発のために、笑い芸人を起用して作ったボスターの炎上騒動がありました。人生会議とは、「もしものときのために、あなたが望む医療やケアについて前もって考え、家族等や医療・ケアチームと繰り返し話し合い、共有する取り組みのこと」を言うことです。

このような世の中の雰囲気や背景にしたなかで、ふれあいサロンでエンディングノートとは何事かと、お叱りを受けることになるかと心配しつつ、あえて実施させていただきました。



実施させていただきました。皆さん方の反応は、静に聞いていただいたと言ったところでした。

午後は、オアシスウエーブの皆さんをお招きして、みんなで歌おつ、バンド演奏、懐かしの歌謡ショーと多彩なアトラクションで楽しい時間を過ごしました。

ここ数年、参加者数が推移ほぼ八〇名程度で推移しております。



次回での再会を願いつつ、より多くの皆さんに参加いただけるよう、内容の充実を図らなければならないと思っています。

キラキラキッチン やまだっ子

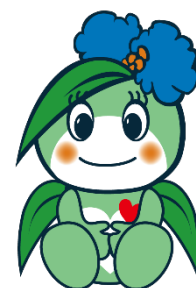
今年は何回実施しました。第一回は一学期の中頃として、六月十五日に、第二回以降は、夏休み中や冬休み直前など、休みを基準に考えました。

第二回は八月二日、第三回は十一月二日に実施しました。

山田まちづくりセンターの調理室では5台の調理台があり、すので、いつも5班に分かれて調理しています。今回、その各班で八枚ずつのピザを焼きました。水菜をトッピングしたのも、新鮮でおいしかったです。みんな、腹いっぱい食べました。また、マシユマロを使ったものは、おやつのように、これもまたすばらしいです。

今回は、お父さんやお母さんも手伝っていただき、みなさんも感激してくださいました。

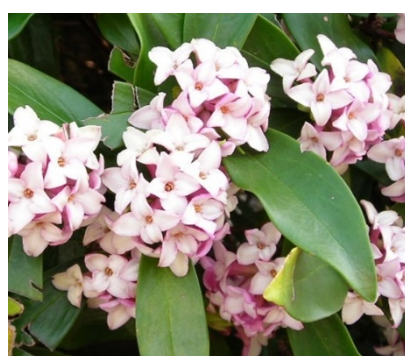
食事のあとは、バルーンアートで子犬や刀を作り、楽しくはしゃぎまわりました。



編集後記

ここ数年、医療福祉を考える会議の結果を報告するようになっています。今回は次年度から、この会議で取り組みたいと話合った結果を報告いたしました。新しいメンバーも入ってくると思いますが、皆さんも気づいたことがあるかもしれません。ご教授いただけますとありがたいです。

山田学区社会福祉協議会では、お互いに支え合って安心して暮らしていることが出来る地域を目指して、「お互いさま」の気持ちで通じ合える山田を目指しています。そのためには、地域の人々の繋がりが大切です。この繋がりを求める活動も取り組みたいと思います。



山田学区の医療福祉を考える会議

今後について

【学ぶ】

- ・会議は、地域はどうあるべきとか、どのような活動をせよとかではなく、**社会の現状や福祉関係など、学習**を中心とした内容とする。
- ・**地域のいまの活動に光を当て**、理解しその大切さを住民に周知啓発し、多様な活動につなげていくように努力する。

【広げる】

- ・この会議の内容を学区全体で共有できるように、広報や会議参加者はそれぞれの所属団体に**広めていく**。
- ・現状は「共感の場」としての見方も、会議のメンバー内で留まっており、これを地域へ広げていく必要がある。
- ・会議の内容を学区全体に広げるため、**学区社協の広報紙を活用**する。広報紙は全戸配布。また、**学区内各種団体の活動も**紹介していく。

【絆を紡ぐ】

- ・地域のつながりが希薄化あるいはまったく関心の無い者も多くなってきているため、**つながりを醸成**するような活動を会議に取り入れていく。

令和 2 年度からの取り組み

前期： 学習の場・仲間づくり 医療福祉のメンバーで、さまざまな学習を通じて地域の現状を知り課題を抽出する。	後期： 実践の場・多くの人への広がり 学習を通して、もっと多くの人たちに知って欲しいと思ったことを広げていくためイベントなどを通じて伝えていく
・学習会：「 もっとこういった話が聞きたい 」ということ を、さらに学習する。	○フォーラム：学習会で知ったことを、もっと多くの住民へ伝えるためのフォーラムを実施する。
・ 地域を知るすごろくゲーム ：楽しくゲームをしながら、地域の社会資源や課題を知る。意外と知らない、活動や制度・事業をみんなで学習する。	○ いろいろな活動・制度・事業を知ろう。 ⇒ ゲームを体験し、そのゲームのバージョンアップや例えば医療福祉に特化したバージョンを作成しよう
・越えちゃったゲーム 一見対応するのが 難し そな課題でも、 みんなが集まれば解決 できることもある、ということを学ぶ。	○みんなで集まって話し合うことの大切さ みんなでワイワイ、自由に話し合う → 何気ない話から活動につながっていくかも → 色んな立場の人に来てもらうには…
・ ちょっといい話朗読会 市内であったちょっといい話をグループごとに朗読で発表しあう	○ 劇団 ちょっといい話 朗読会 他の人にもいい話を広げ、支え合いの大切さを広げる。
・ 視察研修 視察研修に出かけ、山田の活動のヒントをもらってくる	○実際に 1 回やってみませんが 視察で得たヒントをもとに、山田でも 1 回やってみる



友愛訪問は、年に1回だけのことですが、お一人暮らしの高齢者を訪問して、お菓子などを手渡し、安否を確認し、顔を繋ぐことが出来ればとの思いで実施しています。地域の福祉委員さんが訪問して、手渡ししていたのですが、お菓子の賞味期限もあり、時間勝負といった面もあります。でも、お一人暮らしの方からは、楽しみにしていたというように、出来ればブランド品がいいなどの注文が、どこかともなく出てきたりします。

友愛訪問

賛助会員紹介

- 社会福祉協議会とは、法的には社会福祉法で規定している民間の団体です。

活動資金は、会費によりまかなわれ、全住民からの一般会費と、個人や企業からの賛助会費があります。

このたび、今年の草津市社会福祉協議会賛助会員の募集をさせていただきます。

山田学区では 一九九社の皆様から協力をいただきました。この会費は草津市社会福祉協議会の活動に有効に活用させていただきます。

(ここに、山田学区の賛助会員のみなさまを紹介し、厚くお礼申し上げます)

(敬称略・順不同)

 - ・(株)アヤシロ
 - ・島根中井工業(株)ナカイテクノ
 - ・(有)横江製作所
 - ・相撲ちゃんこ 大岳
 - ・(株)光真製作所
 - ・(株)中嶋歯車工業所
 - ・藤田工務店(株)
 - ・福盛教材
 - ・浜口商店
 - ・オートカム
 - ・ワークパートナー
 - ・きさら北山田
 - ・中野製業製造(株)
 - ・園田瓦店
 - ・(株)久泉エンジニアリング
 - ・(有)馬場自動車
 - ・(有)馬場工務店
 - ・堀井歯科医院
 - ・(株)テクノオミ
 - ・膳所木材工業(株)
 - ・キャノンマシナリー(株)
 - ・山一産業(株)
 - ・(有)久保水道
 - ・西本電気工事(株)
 - ・(有)馬場建設
 - ・平井自動車工業(株)
 - ・佐山水道工業(株)
 - ・岡田茂吉研究所
 - ・木川宮農組合
 - ・組会長 古川孝夫
 - ・特別養護老人ホーム えんゆうの郷

社会福祉協議会の活動は、地域福祉の向上を図ることを目的にしていますが、その基本となることは、地域の人々の繋がりが、その活動を支える活動者同士の繋がりが大切です。この活動者同士の繋がりをついでいくことを主な目的として、実施しているものが、ボランティア委員会の研修です。

今年は、京都の「八つ橋庵」ではしで京七味を作りました。とうがらしを始め、山椒、青のり、陳皮、ごま など各種の材料を自分の好みで調合し、すりあわせ、七味をつくれます。もちろんお店からの指導があるのですが、自分流が効きすぎて、家に持ち帰ったら、奥様から、「こんな使い物にならない、何を作ってきたの」と笑われた話もありました。

午後は、京都大原記念病院で実施されています、グリーン・ファーム・リハビリテーションを見学させていただきました。ここで



二千平方メートルの自家菜園を拠点として、リハビリテーションのため、農作業を取り入れたユニークな取り組みをされています。広大な農地に、十分な畝間隔をとって、また、防草シートをきっちり敷きつめ、車いすでも畑の中に入って行けるように整備されています。「トマトを収穫しよう」「今日はきゅうり収穫しよう」という目で見てわかる明確な目標があることで、自分から収穫しようと思いが湧き、リハビリの効果も高まるということです。



ボランティア委員会研修